



多賀城市

「ゼロカーボンシティ」宣言

概要

(記者会見用資料)



カーボンニュートラルの動き

▼世界的な動き

2015年に「パリ協定」において、世界共通の長期目標として、平均気温の上昇を2°C未満に抑えることや、世界の温室効果ガス排出量を早急にピークアウトし、その後に急激に削減することなどを世界的な目標とした新たな国際的枠組みが合意されました。

▼日本の動き

2020年10月に臨時国会の所信表明演説において、政府は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

▼国内のゼロカーボンシティ宣言の状況(2021年12月28日環境省発表時点)

514自治体(40都道府県、306市、14特別区、130町、24村)

宮城県内7自治体(宮城県、気仙沼市、富谷市、美里町、仙台市、岩沼市、名取市)

現在の取組状況（1）

▼脱炭素・再生可能エネルギーの推進

- ・ 公共施設の太陽光発電設備の導入
- ・ 公共施設照明器具の一部のLED灯化及び空調等の高効率化
- ・ 市内街路灯（防犯街路灯、道路照明灯、商店街街路灯）のLED灯化（LED灯化率97.1%）



現在の取組状況（2）

▼循環型社会の構築

- ・ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
- ・ 事業者訪問等による「食品ロス削減」の実施
- ・ ごみの処理先である宮城東部衛生処理組合において、ごみ焼却廃熱を回収し、場内給湯及び暖房等に利用



現在の取組状況（3）


▼緑化推進等の吸収源対策

- ・ 緩衝緑地公園の活用や市内各所での緑地化推進
- ・ 市内森林の大部分が文化財用地として保全され、適切な整備、維持管理を実施
- ・ 市民、団体等が行う緑化推進の支援のための補助金交付



現在の取組状況（４）

▼啓発活動

- ・ 子どもから大人まで様々な年代に対して環境出前講座を実施
- ・ 環境に関するトークイベントやフェスを開催
（H30：さかなクン氏、R1：千葉雄大氏）
- ・ 身近な自然環境を知れる自然環境体験事業
- ・  の賛同・推進



今後の取組方針

- ▼これまでの取組を継続して更に推進
- ▼第三次多賀城市環境基本計画の見直し
(ゼロカーボンシティについて盛り込む)
- ▼地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の見直し
- ▼地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定
- ▼プラスチックに係る資源循環の促進
- ▼「多賀城版花いっぱいプロジェクト」による緑化推進



各種施策の展開